



身の回りの

水よう液の性質を調べよう

科学館の3階は、「身近に化学」のコーナーです。私たちの暮らしを支えるいろいろな物が展示されています。金属や宝石、プラスチック、薬、においのもとなど、たくさんの実物資料で紹介されています。広さといい、展示されている物の量といい、日本で最大級の化学のコーナーとっていいでしょう。

そこで、ジュニア科学クラブも、化学に関する実験を取り上げることにしました。7・9月の実験教室は、身の回りの飲み物や洗剤などの水よう液の性質を調べます。

●何を、どんな方法で調べるの？

私たちが生活する中で、飲んだり使ったりしている水よう液は、たくさんあります。サイダーやお酢(す)、食塩水、台所洗剤などです。これらの水よう液は、酸性、中性、アルカリ性に分けることができます。

今回は、ムラサキキャベツをしぼった液で調べます。ムラサキキャベツは料理に使われる野菜ですが、そんなもので水よう液の性質を確かめることができるのでしょうか。実験してみると右の写真のように、色の変化で調べることができるのです。さあ、確かめてみましょう。

●みなさんが持ってくるもの

- 筆記用具
- 材料は、科学館で準備します。



たがわとしまさ(サイエンスガイドリーダー)